

企画展示 館内では、当財団の研究活動の紹介や、テーマごとに蔵書を紹介する企画展示を行っています。ご来館いただいた際には是非ご覧ください。

ライブラリープラザ 1F

■ 地域の観光紹介 夏のニセコ 期間：2023年7月～9月

ニセコに住み着いた人々の隠れた名言として、こんな言葉があります。「冬にニセコに『来た』が、夏のために『残った』」。ニセコ好きは夏のニセコこそ待ち望んでいるのです。

夏のニセコほど、風景・空気・水に恵まれた地域はないのではないでしょうか。夏でも平均最高気温は25度ほど。30度以上になることもあります。湿度が低いので汗ばむようなことはありません。避暑やワーケーションに訪れる方も年々増えています。日本の夏とは思えないような清涼な気候の中で、東に羊蹄山(1,898m)、北にニセコアンヌプリ(1,309m)の2つの名峰を望みながら、カフェやレストランで過ごす時間も格別です。ニセコ町は農業の町でもあり、地元の農家さんの取れたての野菜、チーズ、ソーセージ、ベーコン等の地元産品にこだわった飲食店も多いのが特徴です。また、羊蹄山麓の湧水を用いたコーヒーを雄大な景色の中で楽しむカフェも増えています。

ゆっくりと過ごした後は、自然を楽しむアクティビ



ティも定番です。この時期、ニセコ町を経て蘭越町から日本海にそそぐ清流・尻別川の水量も安定し、ラフティングやカヌー、清流下りなど、上級者向けから初心者向けまで幅広いリバーアクティビティが楽しめます。環境にやさしい電動レンタサイクルを一日借りれば、ゆっくりと町を楽しみながらどこにでも行くことができます。意外にも、ニセコには数多くの温泉もあります。特にニセコ温泉郷は日本の10種の泉質のうち、7種類の泉質が楽しめることから、温泉を巡る旅人も多く訪れています。

この夏、あなたに合ったニセコの過ごし方を見つけに来てください。



湯めぐり名人
(道の駅ニセコビュープラザで
参加受付中)



ニセコ町旅先納税
(宿泊やニセコ町での飲食・買い物
お得になります)



有島記念館ブックカフェ
(有島武郎の人と作品、武郎が所有した
農場の足跡を紹介しています)

協力：(株)ニセコリゾート観光協会 *同協会には当財団研究員も出向しています。 <https://www.niseko-ta.jp/>
ニセコ温泉部 <http://niseko-onsenbu.com>

エントランスギャラリー 1F

「るぶ」誕生50周年記念
るぶ特別企画展示
—「るぶ」につながる
旅行ガイドブックの変遷—

期間：2023年5月～9月



貴重書ギャラリー 1F

ジャパン・ツーリスト・ビューロー
が設立された当初(1912年)から、
現在に至るまで日本の「旅行ガイド
ブックの歴史」を紹介。

期間：2023年5月～9月



たびとしょ

— 旅の図書館 News Letter —

Vol. 24

2023年7月号



写真提供：(株)ニセコリゾート観光協会

Information

「旅の図書館」がある東京都港区には様々な特色を持つ魅力的な専門図書館が数多くあります。当コーナーではそれらの図書館をシリーズで紹介していきます。

(公財)味の素食の文化センター 食の文化ライブラリー

「食の文化ライブラリー」は、(公財)味の素食の文化センターが運営する「食」の分野に特化した専門図書館です。1991年に図書館として正式にオープンし、2004年に港区高輪へ移転して現在にいたっています。江戸時代の料理書、明治から昭和30年代の書籍・雑誌などの古い図書から新刊本まで約45,000冊を所蔵しています。開館時間内なら予約なしでどなたでも自由にご利用いただけます。貸出(5冊/3週間)や閉架資料の閲覧には図書カードをお作りいただいています。

2階には「食文化展示室」があります。江戸時代の食の場面

を描く錦絵や料理書に基づく再現料理サンプルの展示など、今につながる食文化の姿を、目で見ても楽しみいただけます。こちらも予約なし無料でご覧いただけますので、お気軽にお立ち寄りください。

- 所在地/東京都港区高輪三丁目13番65号
- 開館時間/10:00～17:00
- 開館日/月曜日～土曜日
- 休館日/日曜日・国民の祝日・年末年始・図書整理期間・その他

<https://www.syokubunka.or.jp/>



「旅の図書館」TOPICS

当館の直近の様子をトピックスとしてお伝えします。

マウンテンリゾート研究会シンポジウム2023を開催しました

マウンテンリゾートに関わる諸課題について、各専門家・実践者を交えた情報共有や議論を行い、課題解決を目指す「マウンテンリゾート研究会シンポジウム2023」を6月15日～16日、当財団にて開催しました。

1日目には、観光庁スノーリゾート担当の高森専門官から講演いただいた他、ニセコ町片山町長、白馬村丸山村長、(株)山と溪谷社中橋法人営業部長、奥伊吹観光(株)草野代表取締役をお招きし、マウンテンリゾート地域のサステナブルの実践についてパネルディスカッションを行いました。2日目には、「キッズスクール」「人材育成」

「DMO」「二次交通」「アウトドアブランド」「地域ファイナンス」「バックカントリーの法的整理」「スマートリゾート」の8つの観点から各講師をお招きし、講演いただきました。総勢58名の参加者(マウンテンリゾート事業者、行政、DMO、旅行業、設計・建設業、索道、メディア、研究者等)を迎え、盛況のうちに閉会いたしました。

マウンテンリゾート研究会は、マウンテンリゾートに関連する事業者や地域、個人等を会員とする、当財団が事務局を務める研究会です。今後もマウンテンリゾートの諸課題の解決に向け、議論や実践を行ってまいります。



跡見学園女子大学

～観光コミュニティ学部 観光デザイン学科の皆さんが来館されました～

跡見学園女子大学観光デザイン学科の皆さんが守屋先生と6月に来館されました。当日は国立国会図書館と旅の図書館でそれぞれ観光に関する資料を調査し、今後取り組む卒業論文等の参考にされるとのことでした。幅広い観光領域に及ぶ図書情報(デジタルデータを含む)に関心を持たれた様子でした。

学生の皆さんからは、『観光に関する資料が多く、驚きと同時に楽しい空間でした』、『自分が生まれる遥か前の観光パンフレットや時刻表など、非常に刺激的な体験でした』などのご感想をいただきました。また、守屋先生からは、新たな視点で図書館と大学との連携を進めていきたいという感想を頂戴しました。

旅の図書館としても積極的に新たな価値創造に向けて取り組んでまいります。



*守屋先生は、3月まで当財団の上席主任研究員としてご活躍され4月より現職に着任されました。

6月1日より地下1階のメインライブラリーのレイアウトを変更するとともに1階のライブラリーラザについても利用座席数を拡大しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2020年より利用スペースや座席数を縮小して運営してきましたが、感染法上の位置付けが5類感染症へ移行されたことに伴い、コロナ禍前の状態に戻します。長い間ご不便をおかけしました。

引き続き、感染防止に向けて手指消毒などにはご協力をお願いいたします。また事前予約制も予約方法を見直して継続いたします。ご来館前に「旅の図書館」HPからの事前予約を宜しくお願いいたします。

*時間単位で入館時間をご予約いただけますが、ご利用は閉館時間まで可能です。詳細はHPでご確認ください。



旅の図書館オススメの一冊！

最近刊行された図書の中から当館のおすすめをご紹介します。



1 羽田空港アーカイブ 1931-2023 Tokyo International Airport 写真集

徳間書店 編 羽田航空宇宙科学館推進会議 監修 徳間書店 2023年4月 235頁
東京国際空港の原点である東京(羽田)飛行場は1931年に移転・開港した。戦後、1952年に返還されてから70年。日本の空の玄関口として発展してきた歴史を様々なシーンで振り返る。約800枚の記録写真で楽しめる一冊。

2 ボーダーツーリズムの記録 1997-2022 国境に立つて、感じて、撮った

斉藤マサヨシ 著 北海道大学出版会 2023年3月 211頁
ボーダーツーリズムとは、国境を超える旅。風景は変わらないが暮らす人々や文化は一変する。異なる空間の織りなす多様性に覚醒する旅を稚内からユラシア、中国、アジアを経てオホーツクへと案内する「国境写真家」による記録。

3 北欧のパブリックスペース 街のアクティビティを豊かにするデザイン

小泉隆 ディビッド・シム 著 学芸出版社 2023年2月 175頁
北欧のパブリックスペースの豊かさを8つのカテゴリーから紹介する。北欧の人々の寛容性、豊かな発想力など、文化や国民性の違いはあるが、空間デザイン、空間の使い方、それを支える基盤や背景から日本におけるあり方を学ぶ。

4 経営の視点から考える「新しい観光学」

国枝よしみ 岡田晃 編著 千倉書房 2023年2月 317頁
経済活動の柱のひとつとなる「観光」は、より経営の視点から捉える必要がある。観光の歴史、産業論を基本から解説し、コロナ禍を通じて地域や業界がどのように取り組んできたのか、観光産業の持続可能な今後の方向性を学ぶ入門書。

5 地方創生 デジタルで救う地域社会・経済

地方創生とデジタルビジネス研究会 編 中央経済社 2023年5月 266頁
地域の特徴を活かした社会・経済を創生するには? 仕事をつくる、人材を育成する、人流をつくる、働き方を変える、地域間/地域内で連携する等の21事例が導く地方創生とデジタルビジネスを掛け合わせた研究成果の手引き。

6 ホテル・旅館業再興 ポストコロナの経営戦略

北村剛史 著 金融財政事情研究会 2023年3月 206頁
ホテル・旅館は、単に「宿泊・飲食機能」だけでなく、「地域情報の発信機能」や「地域産業を支える機能」を有している。本書は、宿泊事業の役割に関心を持つ人、経営参加を考えている人への最善の手引書。

7 日本のローカル線150年全史 その成り立ちから未来への展望まで

佐藤信之 著 清談社Publico 2023年4月 479頁
明治時代、日本に鉄道が登場したところから現在までのローカル線の歴史をまとめた一冊。コロナ禍で厳しい経営を余儀なくされている現状のなかで、なお鉄道を維持すべきか、という大きな問題が問われている。

8 地域再生の未来像 越前からのメッセージ

南保勝 著 晃洋書房 2023年3月 265頁
目まぐるしく変化する社会の中で、地方は未来に向けどのように存続・発展していけばよいのか。著者所縁の越前をモデルに、地域が保有する資源を活かしながら、地域が地域らしく発展していくための方向性を模索する。

～最近受け入れをした貴重書から～



『ヤンクールト欧州交通全図 1930年版』
発行 社団法人ジャパン・ツーリスト・ビューロー

『鉄道路線 郵便電信 新選 日本旅行便覧』
1895(明治28)年2月4日出版
編著 直江 外次郎 発行 青野 友三郎